



2021年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月1日

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社
 コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者
 四半期報告書提出予定日 2021年10月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福
 (氏名) 岡野 武治
 (氏名) 木村 浩一
 TEL 093-372-9215

(百万円未満切捨て)

1. 2021年11月期第3四半期の連結業績(2020年12月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年11月期第3四半期	3,827	4.9	165	—	230	—	178	—
2020年11月期第3四半期	3,647	△9.3	△293	—	△223	—	△89	—

(注)包括利益 2021年11月期第3四半期 180百万円 (—%) 2020年11月期第3四半期 △129百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第3四半期	104.20	—
2020年11月期第3四半期	△51.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年11月期第3四半期	11,992	8,938	74.5
2020年11月期	12,587	8,815	70.0

(参考)自己資本 2021年11月期第3四半期 8,938百万円 2020年11月期 8,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年11月期	—	0.00	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,977	9.7	210	42.7	280	11.1	190	△49.4	110.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年11月期3Q	1,793,000 株	2020年11月期	1,793,000 株
2021年11月期3Q	89,093 株	2020年11月期	80,173 株
2021年11月期3Q	1,709,992 株	2020年11月期3Q	1,725,317 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度および前第3四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス対策である緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用により、企業活動や個人消費活動が再び停滞することとなりました。感染収束への不透明さは依然として残るものの、国内においてワクチン接種率が増加しており行動制限の段階的緩和も検討されるなど、明るい兆しも見え始めております。

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループの事業環境につきましては、原子力発電では再稼働に向けた動きが徐々に見られつつありますが、テロ対策の不備等の様々な問題から依然として見通しが立たない状況であります。火力発電では、脱炭素の動きから再生可能エネルギーなど環境に配慮した電源へシフトする傾向が強くなっていることから、国内の石炭火力プラントの新設計画が見直されている状況であり、火力発電事業を取り巻く環境が厳しくなっております。

このような事業環境の中、バルブ製造販売部門では、バングラデシュのM a t a r b a r i火力発電所1号機、サウジアラビアのR a b i g h火力発電所5号機、ベトナムのV a n P h o n g火力発電所1号機など、海外火力発電所向けの販売が中心となりました。また、横須賀火力発電所新2号機、島根原子力発電所3号機など、国内向けの販売も概ね堅調に推移した結果、売上高は前年同期を若干上回ることとなりました。

メンテナンス部門では、柏崎刈羽原子力発電所7号機の設備設置工事のほか、橘湾火力発電所1号機、松浦火力発電所2号機、七尾大田火力発電所1号機向けの点検工事を中心として概ね計画通りに売上を計上した結果、売上高は前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,827百万円（前年同期比4.9%増）となりました。利益面では、案件ごとの採算性を重視した受注を増やしたことや組織変更を含めた機動的な人員配置の見直しなどが寄与し、前年同期に比べて売上原価は減少することとなりました。その結果、営業利益165百万円（前年同期は営業損失293百万円）、経常利益230百万円（前年同期は経常損失223百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益178百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失89百万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ595百万円減少し、11,992百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が575百万円、仕掛金が599百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,511百万円、投資有価証券が60百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ718百万円減少し、3,053百万円となりました。この主な要因は、買掛金が262百万円、長期借入金が234百万円、未払費用が58百万円、その他の引当金が80百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ123百万円増加し、8,938百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が143百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

バルブ製造販売部門では、納期調整中の案件を一部含んでおりますが、バングラデシュやベトナム、サウジアラビアなど海外プラント向けの売上を中心とし、国内でも島根原子力発電所2号機向けなどの販売を予定しております。

メンテナンス部門では、福島第一原子力発電所における廃炉関連作業をはじめ、柏崎刈羽原子力発電所5号機の弁点検工事、同7号機の設備設置工事を中心として、川内原子力発電所1号機や三池火力発電所の弁点検工事などを予定しております。

期末にかけてこれらの案件の売上計上を予定しておりますが、第3四半期までと比べて収益率の低い案件が第4四半期に集中しているため、2021年6月16日に公表いたしました業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は今後の受注環境や顧客納期の変更、新型コロナウイルスによる調達品への影響等、様々な要因により変動する可能性を含んでおります。今後の経過を注視しつつ、開示すべき事象が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,512	4,087
受取手形及び売掛金	3,454	1,943
製品	129	115
仕掛品	1,030	1,629
原材料	129	155
その他	82	83
流動資産合計	8,339	8,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,543	1,487
機械装置及び運搬具(純額)	1,552	1,366
その他(純額)	314	322
有形固定資産合計	3,410	3,176
無形固定資産	41	34
投資その他の資産		
投資有価証券	469	408
繰延税金資産	238	258
その他	91	101
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	796	765
固定資産合計	4,248	3,977
資産合計	12,587	11,992

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	441	179
1年内返済予定の長期借入金	312	312
未払費用	200	141
未払法人税等	64	45
賞与引当金	27	63
その他の引当金	105	25
その他	178	57
流動負債合計	1,330	824
固定負債		
長期借入金	1,773	1,539
役員退職慰労引当金	37	43
退職給付に係る負債	630	646
固定負債合計	2,441	2,229
負債合計	3,772	3,053
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,286	1,286
資本剰余金	543	543
利益剰余金	7,194	7,338
自己株式	△250	△273
株主資本合計	8,773	8,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	10
退職給付に係る調整累計額	38	33
その他の包括利益累計額合計	41	44
純資産合計	8,815	8,938
負債純資産合計	12,587	11,992

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
売上高	3,647	3,827
売上原価	3,262	3,026
売上総利益	384	800
販売費及び一般管理費		
役員報酬	87	70
給料手当及び賞与	226	223
賞与引当金繰入額	10	12
退職給付費用	12	9
役員退職慰労引当金繰入額	8	6
減価償却費	15	14
その他	317	298
販売費及び一般管理費合計	678	635
営業利益又は営業損失(△)	△293	165
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
持分法による投資利益	27	24
受取賃貸料	20	19
その他	23	25
営業外収益合計	79	76
営業外費用		
支払利息	5	4
減価償却費	1	1
固定資産除却損	0	2
その他	1	2
営業外費用合計	9	11
経常利益又は経常損失(△)	△223	230
特別利益		
受取補償金	131	—
特別利益合計	131	—
特別損失		
臨時損失	7	27
特別損失合計	7	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△99	203
法人税、住民税及び事業税	48	46
法人税等調整額	△58	△20
法人税等合計	△10	25
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89	178
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△89	178

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89	178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	8
退職給付に係る調整額	△5	△5
その他の包括利益合計	△40	2
四半期包括利益	△129	180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△129	180
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大により、依然として経済活動が本格的な回復には至っていない状況を鑑み、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、当第3四半期連結会計期間においても変更は不要と判断しております。

なお、受注状況の回復を仮定し行った、繰延税金資産の回収可能性および固定資産の減損等の会計上の見積りは、将来における実績値に基づく結果と異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

「II 当第3四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)

当社グループは「バルブ事業」を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは従来、セグメント情報における報告セグメントを「バルブ事業」および「メンテナンス事業」の2つとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「バルブ事業」に変更しております。

この変更は、設計・製造・メンテナンスというバルブのライフサイクルにおける管理を行う上で、当社グループが特殊仕様の製品を製造し、納品後のメンテナンス作業まで一貫して行う実態を鑑みると、「バルブ事業」と「メンテナンス事業」は本質的に一体化しており、両事業を統合して一体管理することが当社の状況を適切に把握できると判断したためであります。

また、当社グループは「バルブ事業」を主要な事業としておりますが、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、前第3四半期連結累計期間および当第3四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。